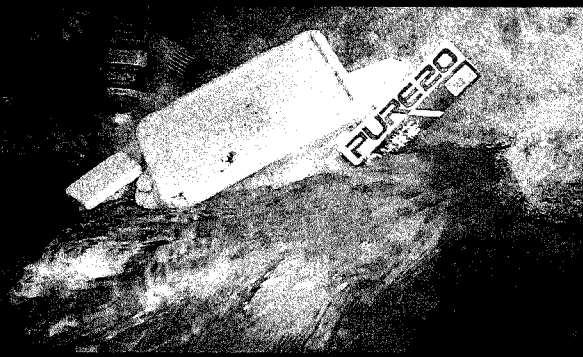




カジカガエル

清流にしかすむことができないカエル。
虫のような美しい音色で鳴きます。

わたしたちの生活にうるおいをあたえてくれる豊かな自然。そこに生きづくたくさんの生き物。しかし、どんどんその数が減り、凶鑑の上でしか見ることができなくなってしまうものもあります。夏になるとホタルが飛び交う姿がよく見られたものです。少し前まで、桂川にもたくさん生息していたカジカガエルの姿も、今ではほとんど見ることができなくなりました。人間が豊かな生活の代償に大切な自然を壊してしまっただけが原因です。



無造作に捨てられたごみ。一体誰が・・・。

桂川、鹿留川、菅野川、大幡川・・・。
都留市には、大小幾つもの川が流れています。そこは、様々な生き物たちの聖域です。かれらの息吹が聞こえています。澄んだ水、豊かな緑。
そこに投げ捨てられているビニール袋や空き缶。なんともアンバランスな光景。一体誰が捨てたのでしょうか。ふるさとの川が泣いています。聞こえますか川の叫びが・・・。

わたしたちの生活にうるおいをあたえてくれる豊かな自然。そこに生きづくたくさんの生き物。しかし、どんどんその数が減り、凶鑑の上でしか見ることができなくなってしまうものもあります。夏になるとホタルが飛び交う姿がよく見られたものです。少し前まで、桂川にもたくさん生息していたカジカガエルの姿も、今ではほとんど見ることができなくなりました。人間が豊かな生活の代償に大切な自然を壊してしまっただけが原因です。

が多くあります。このすばらしい自然を求め、週末になるとどこからともなくたくさん車が走り込んでいます。若者たちが最近はやりのオフロード車でアウトドアイフを楽しんでいます。きれいな空気をさかんにバーベキュー・・・。しかし、彼らが帰ったあと、必ずといっていいほど、そこに残されているごみの山。すばらしい自然を堪能させてもらった代償に置いていかれたものです。心ないこうした行為がカジカガエルをはじめ多くの生き物たちのすむところを奪っているのです。

子どもたちに伝えていかなければならない、この美しい流れはわたしたちが守っていかなければならないのです。都留市では、市民総参加でごみの減量に努めています。毎週日曜日になると各地区ごとに、朝早くから自治会の皆さんが資源ごみの分別収集をしています。また、川をきれいにしようと、みんなで努力しています。ごみを減らせればそれだけ自然がよくなるのです。

自分の出したごみを川に「ポイ」。ひと握りのこうした人たちの行為がわたしたちの努力を台なしにしています。

「都留市はいいところですよ。」
都会から来た人がよくいうセリフです。都留市には豊かな自然があります。すばらしい水があります。守って行かなければならないのです。この川を、この自然を。子どもたちのために。